



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場会社名 京都きもの友禅株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7615 URL https://www.kyotokimonoyuzen.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 雅親  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 白岩 正樹 (TEL) 03-3639-9191  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,622	△33.2	161	—	189	198.7	201	—
2020年3月期第3四半期	8,412	17.0	△24	—	63	—	△9	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 223百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	16.88	—
2020年3月期第3四半期	△0.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	12,629	5,454	43.2	462.36
2020年3月期	12,173	5,342	43.9	446.12

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,454百万円 2020年3月期 5,342百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
2021年3月期	—	3.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	—	0	—	59	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	15,498,200株	2020年3月期	15,498,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,700,039株	2020年3月期	3,523,339株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	11,962,829株	2020年3月期3Q	11,958,010株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP」が保有する当社株式(2021年3月期3Q 351,300株)が含まれております。また、「株式給付型ESOP」が保有する当社株式(2021年3月期3Q 166,069株)を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、経済活動の停滞が長期化しており、依然として厳しい状況が続いております。

このようななか、当社グループでは4月上旬から5月下旬の全店臨時休業の後、感染拡大の抑制に必要な対策、対応を実施しながら営業活動を行ってまいりました。当社グループにおける各事業部門別の状況は次のとおりであります。

## 〔和装関連事業〕

「振袖」販売およびレンタルについては、10月以降は徐々に来店者数も改善しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための期初の臨時休業と、夏の繁忙期における都市部を中心とした外出自粛の影響が大きく、受注高は前年同期比42.6%減となりました。また、既存顧客を対象とした「一般呉服」等の受注高についても、臨時休業とその後の催事スケジュール変更の影響があり、前年同期比31.0%減となりました。

以上により、和装関連事業の受注高は、前年同期比34.4%減の5,120百万円となりました。また売上高（出荷高）については、33.8%減の5,409百万円となりました。

利益面においては、売上総利益率は前年同期と比べ0.2ポイント改善し62.1%となりました。販売費及び一般管理費については、コロナ禍に鑑み、現状の売上高水準でも利益が出せるよう、中期計画策定のもと構造改革を進めており、特に広告宣伝費比率を引き下げつつ売上高を確保していく体制への変更に着手しております。また、臨時休業期間中に発生した費用（人件費、店舗家賃、催事中止費用等）を特別損失として計上しており、販売費及び一般管理費総額としては1,905百万円減少し、対売上高比は2.4ポイント改善いたしました。この結果、和装関連事業の営業利益は8百万円（前年同期は営業損失204百万円）となりました。

## 〔金融サービス事業〕

金融サービス事業については、売上高は前年同期比13.7%減の213百万円、営業利益は14.2%減の154百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は前年同期比33.2%減の5,622百万円、営業利益は161百万円（前年同期は営業損失24百万円）、経常利益は前年同期比198.7%増の189百万円となりました。また、友の会の預り金残高のうち、連絡不能等、将来的にも使用が見込まれない長期未使用預り金を特別利益として277百万円計上、臨時休業実施に伴う雇用調整助成金を特別利益として195百万円計上、臨時休業期間中に発生した費用を特別損失として376百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は201百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失9百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.5%増加し、9,817百万円となりました。これは、現金及び預金が996百万円、商品及び製品が116百万円それぞれ増加し、割賦売掛金が256百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて14.4%減少し、2,812百万円となりました。これは、有形固定資産が45百万円増加し、差入保証金が250百万円、投資有価証券が236百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%増加し、12,629百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、6,892百万円となりました。これは、短期借入金が1,050百万円、買掛金が198百万円それぞれ増加し、賞与引当金が114百万円、預り金が422百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.2%増加し、282百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、7,174百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、5,454万円となりました。これは、利益剰余金が128百万円増加したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間における損益は計画を上回って推移しておりますが、第4四半期において緊急事態宣言の発出による来店者数の減少に伴う売上高の減少が見込まれることや、一部地域での成人式中止に伴う関連費用の支出なども見込まれるため、現時点におきましては、2020年10月28日に発表した業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,574,791	4,571,351
売掛金	17,044	73,008
割賦売掛金	3,094,086	2,837,455
商品及び製品	1,446,107	1,562,130
原材料及び貯蔵品	22,804	43,245
その他	731,934	730,068
流動資産合計	8,886,768	9,817,259
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,000	—
その他(純額)	134,364	184,280
有形固定資産合計	138,364	184,280
無形固定資産		
49,596	49,596	66,354
投資その他の資産		
投資有価証券	278,172	41,337
差入保証金	2,052,850	1,802,750
敷金及び保証金	758,070	699,949
その他	9,584	17,562
投資その他の資産合計	3,098,676	2,561,600
固定資産合計	3,286,638	2,812,235
資産合計	12,173,406	12,629,494

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	161,138	359,923
短期借入金	250,000	1,300,000
リース債務	4,645	4,645
未払法人税等	82,273	59,774
前受金	1,357,826	1,092,689
預り金	3,462,019	3,039,729
賞与引当金	155,000	41,000
販売促進引当金	99,160	184,330
割賦未実現利益	458,380	463,769
資産除去債務	26,185	—
その他	515,985	346,238
流動負債合計	6,572,616	6,892,100
固定負債		
リース債務	8,306	10,713
繰延税金負債	4,957	8,996
資産除去債務	245,349	262,718
固定負債合計	258,614	282,428
負債合計	6,831,230	7,174,529
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,215,949	1,215,949
資本剰余金	1,708,256	1,431,398
利益剰余金	5,744,479	5,873,402
自己株式	△3,305,176	△3,065,784
株主資本合計	5,363,508	5,454,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,331	—
その他の包括利益累計額合計	△21,331	—
純資産合計	5,342,176	5,454,965
負債純資産合計	12,173,406	12,629,494

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,412,648	5,622,834
売上原価	3,184,959	2,109,884
売上総利益	5,227,688	3,512,949
販売費及び一般管理費	5,252,284	3,351,749
営業利益又は営業損失(△)	△24,596	161,200
営業外収益		
受取利息	293	183
受取配当金	2,221	1,500
信販取次手数料	75,878	47,919
雑収入	12,560	8,793
営業外収益合計	90,954	58,396
営業外費用		
支払利息	1,198	15,043
支払手数料	—	10,000
雑損失	1,675	4,956
営業外費用合計	2,874	30,000
経常利益	63,483	189,596
特別利益		
投資有価証券売却益	3,581	3,269
固定資産売却益	—	781
助成金収入	—	195,899
会員積立金取崩益	—	277,954
特別利益合計	3,581	477,906
特別損失		
臨時休業等による損失	—	376,527
和解金	—	12,550
減損損失	36,303	—
投資有価証券売却損	1,991	—
特別損失合計	38,294	389,077
税金等調整前四半期純利益	28,770	278,424
法人税、住民税及び事業税	38,539	75,408
法人税等調整額	△322	1,107
法人税等合計	38,217	76,515
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,447	201,909
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,447	201,909



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,447	201,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,038	21,331
その他の包括利益合計	△4,038	21,331
四半期包括利益	△13,485	223,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,485	223,240
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装関連事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,165,131	247,516	8,412,648	—	8,412,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12,623	12,623	△12,623	—
計	8,165,131	260,140	8,425,272	△12,623	8,412,648
セグメント利益 又は損失 (△)	△204,000	179,938	△24,062	△534	△24,596

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「和装関連事業」セグメントにおいて、資産の用途変更に伴い回収可能価額を見直した結果生じた減少額36,303千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装関連事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,409,128	213,706	5,622,834	—	5,622,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,519	9,519	△9,519	—
計	5,409,128	223,226	5,632,354	△9,519	5,622,834
セグメント利益	8,987	154,452	163,440	△2,239	161,200

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。